



第31期 中間報告書
AVANTIAレポート


2019.9.1 → 2020.2.29

CONTENTS

- 01 株主の皆様へ
- 03 社長インタビュー
- 07 ひと目で分かる連結財務データ
- 09 株式の概況
- 10 会社概要

自由に 楽しく 美しく

AVANTIA



時代の変化に適応し、 社会に愛され必要とされる 企業を目指す。

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は1989年に創立し、昨年30年という節目を迎えました。これもひとえに当社で住宅をご購入いただきましたお客様、我々をいつも支えてくださるお取引先、そして株主の皆様のご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

さて、当社は2020年1月より社名をブランド名と統一した「株式会社AVANTIA」と改めました。新社名の認知度を高め、より一層の企業価値とブランド価値の向上を目指していく所存です。これまで以上に「変革と挑戦のDNA」を強みとしながら、「総合不動産サービス企業」を構築し、より一層の株主価値、顧客価値、従業員価値など、すべてのステークホルダーにとっての価値を最大化へとつなげてまいります。

株主の皆様には、今後とも引き続き一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社AVANTIA

代表取締役社長 沢田康成

今回のインタビューでは、
昨年発表した当社長期ビジョン、中期経営計画から2020年
8月期中間期を終えての振り返りまでを、代表取締役社長の
沢田康成より説明をさせていただきます。

“長期ビジョンについてご説明ください” 共通価値を創造し、成長を続ける企業へ

当社は1989年の設立から2002年の株式上場、2004年の一部指定と成長を続けてまいりました。その当時、株式上場といった明確な目標に向け、全社員が業務に邁進していたことは今でも鮮明に覚えております。その後、2008年のリーマンショックを境に当社は停滞の時期を過ごすことになります。10年にも及ぶ長い停滞期に陥った要因としては、上場という目標達成以降、新たな目標を見出せなかったことが大きいと考えました。

その新たな目標として、今後の当社の道筋として掲げたのが今回の長期ビジョンです。私が代表取締役に就任した2018年





TOP INTERVIEW

は、企業の持続的な成長に対する社会の関心の高まり、そして持続的な成長と中長期的な企業価値の創出を求めるコーポレートガバナンス・コードの改訂直後の時期であり、上場企業を取り巻く環境の変化もビジョン作成の背景にありました。

当社の長期ビジョン、これからの目指す姿は“お客様・地域・社会に寄り添い、あらゆる不動産ニーズを解決する企業集団”です。私たちの強みである新築戸建住宅の分譲に加え、注文住宅の請負や不動産仲介、リフォーム、リノベーション等に取り組み、“総合不動産サービス企業”としてお客様に提供する価値の領域を拡げていきます。それは、長きにわたり当社が社会に対して共通価値を創造し、成長を続けるという強い意志の表れであります。

“長期ビジョンの主な施策をご説明ください”

人材の育成。そして、M&Aによる拡大戦略を推し進めます

最も重要視していることは人材の育成です。人材の能力向上を目的として教育や研修体制を従来以上に充実させてまいります。そして当社に足りないスキルや能力をもつ新たな人材確保を精力的に進めております。また、支店においては、責任者が画一的なマニュアル型ではなく、お客様や地域ニーズや特性に合わせて自らが柔軟に対応することで、“総合不動産

サービス企業”の担い手となる人材に育つことを期待しております。

もう一つの重要施策はM&Aです。当社が更なる成長を実現していくためにも、現状不足しているノウハウやリソースを補っていく必要があります。当社理念とビジョンの共有、そしてグループ会社化によりシナジーを生み出すことをM&Aの基本方針とし、慎重かつ大胆にパートナーとなる企業を探してまいります。

“中期経営計画2022についてご説明ください”

成長エンジンの構築

長期ビジョン実現に向けたマイルストーンとしてVISION2030を設定し、目標水準を2030年8月期の売上高1,000億円、経常利益60億円としました。

このVISION2030を達成するために3ステップの中期経営計画に分けました。今回の中期経営計画2020では「成長エンジンの構築」として、先に述べました人材の育成やM&A戦略など、長期ビジョン実現のための投資期間と位置付けております。

その「成長エンジンの構築」として重要なテーマはAVANTIAブランドの確立です。AVANTIAブランドは、過去の長期ビジョンの発表に先駆け、外見の美しさ、品質、アフター

ケアを兼ね備えた住宅ブランドとして歩み出しました。そして今年1月、社名をサンヨーハウジング名古屋からAVANTIAへ変更しました。創業当時は地元である名古屋を地盤に会社を成長させていくという強い決意のもと、社名に「名古屋」を冠しました。創業から30年を経た現在では、東海地区、兵庫県、石川県に事業領域を拡げております。今後は首都圏をはじめ、新たなエリアにおいてもAVANTIAブランドを浸透させていきたいという思いから社名変更の決断を下しました。

“2020年8月期中間期を終えて”

厳しい事業環境。

その中に表れる新施策の成果

今期は、昨年10月施行の消費増税の影響による消費者マインドの低下が想定以上に厳しく、第1四半期の受注獲得に苦戦しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による住宅資材や住宅設備機器の欠品による納期遅延の発生など、例年に無く難しい舵取りを余儀なくされました。

その結果、2020年8月期中間期は売上高164億89百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益72百万円（前年同期比75.4%減）、経常利益2億18百万円（前年同期比44.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億25百万円（前年同期比58.6%減）と増収減益の厳しい決算となりました。

そのような厳しい事業環境の中、今年1月の社名変更に合わせて行ったテレビCM等による認知活動やキャンペーン施策といった戦略が功を奏したこともあり、第2四半期の受注は回復の兆しが見えてきました。また、総合不動産サービスの提供に向け、サンヨー不動産およびプラスワンのグループ化による事業領域の拡大が順調に進み、さらにデザインギャラリーでのリフォーム・仲介事業を当初計画から前倒しで提供できることとなりました。このように長期ビジョンの実現に向けた新施策は順調に進んでいると評価しております。ただし、新型コロナウイルスの感染症拡大および収束の見通しは不確実性が極めて高く、一定の前提を置くことも困難な状況であり、引き続き当社の業績に与える影響の精査を続けてまいります。

“株主の皆様へ”

株主の皆様と同じ目線で

冒頭で申し上げた通り、当社は長期ビジョンという新たな目標を掲げました。あらゆる不動産ニーズを解決する企業集団への進化や目標水準などの達成に向けて責任感をもって取り組んでまいります。

VISION2030では売上高、経常利益にあわせてROE8.0%以上を目標水準としております。これは、株主の皆様から

お預かりした資金を用い、売上高や経常利益といった業績の向上を図ると共に、生産性、資本効率性を上げることで企業価値の向上、そして株主還元の充実を両立することが重要と考えたからです。

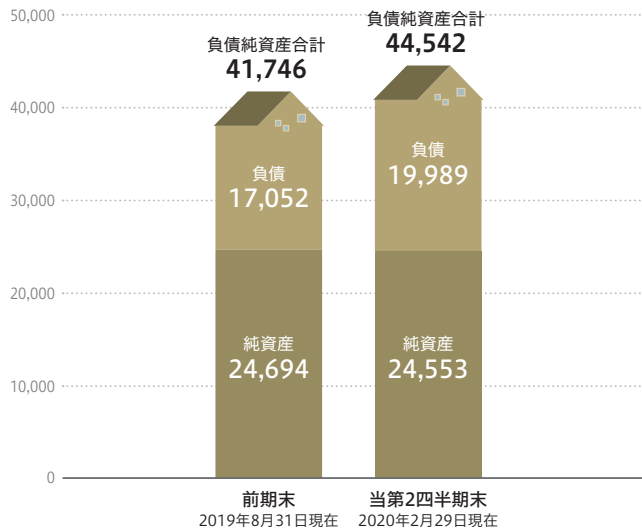
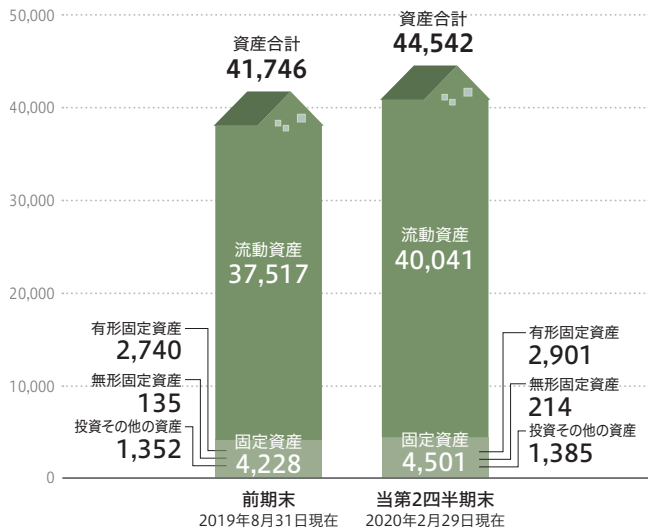
その上で、2020年8月期は、当社のあり方を大きく変える転換点になるものと考えております。ご説明いたしました長期ビジョン達成に向けた施策を実行し、成果に繋げることで持続的な成長、そして企業価値の向上に取り組んでまいります。



ひと目で分かる連結財務データ

連結貸借対照表

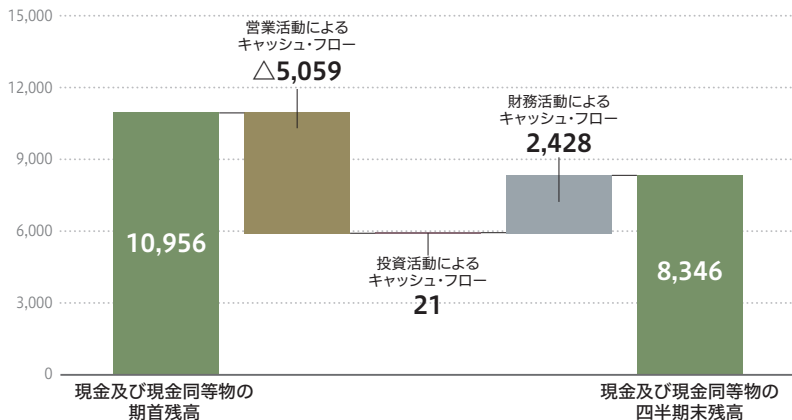
(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書

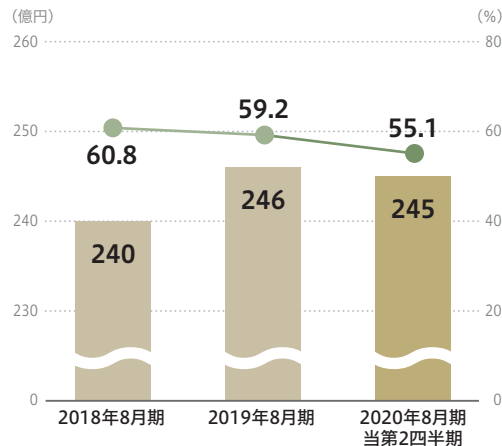
(単位:百万円)

第2四半期(累計) 2019年9月1日~2020年2月29日



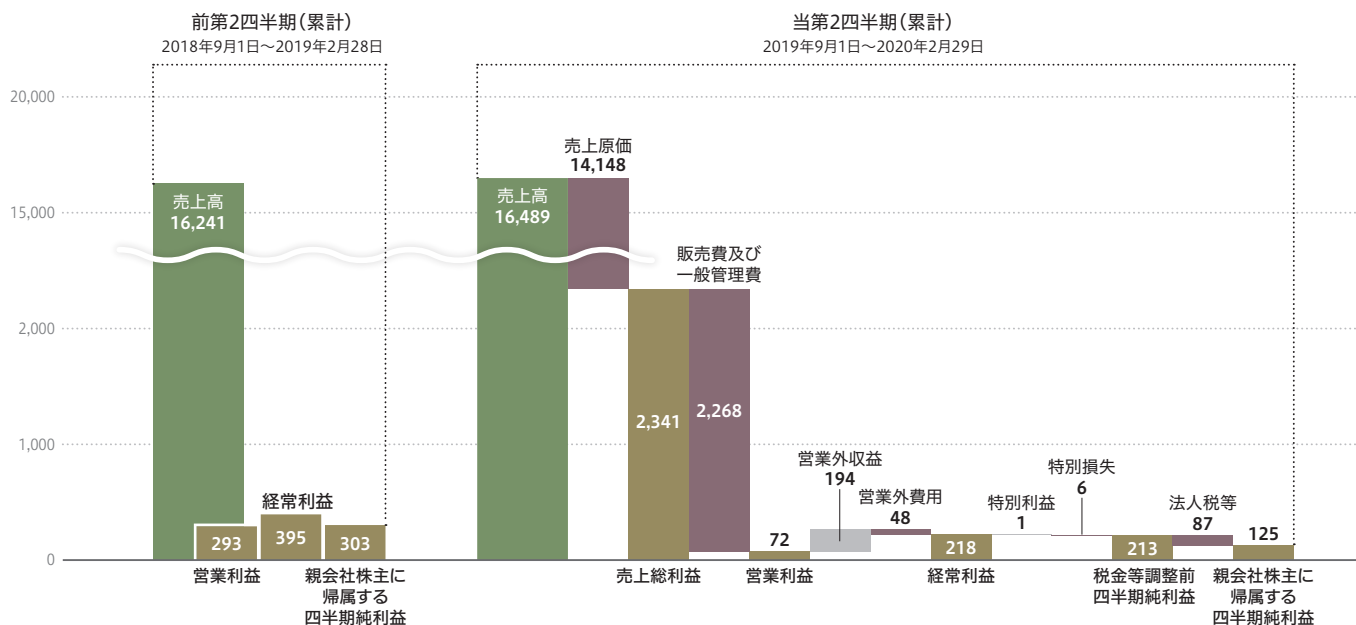
純資産/自己資本比率の推移

■ 純資産 ● 自己資本比率



連結損益計算書

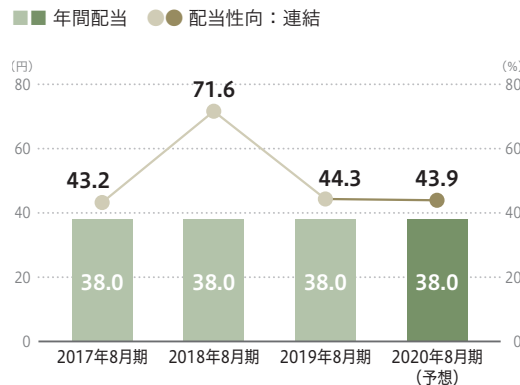
(単位:百万円)



当期(2020年8月期)の業績見通し

売上高	41,789 百万円(前期比8.6%増)
経常利益	1,884 百万円(前期比9.2%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,263 百万円(前期比1.0%増)
1株当たり配当金(中間)	19 円/株
1株当たり配当金(期末)	19 円/株(予想)

1株当たり配当金の推移



【中間配当について】2020年4月13日開催の取締役会において2020年2月29日を基準日として1株当たり19円の中間配当を2020年5月20日を効力発生日として行うことを決議いたしました。

株主の状況

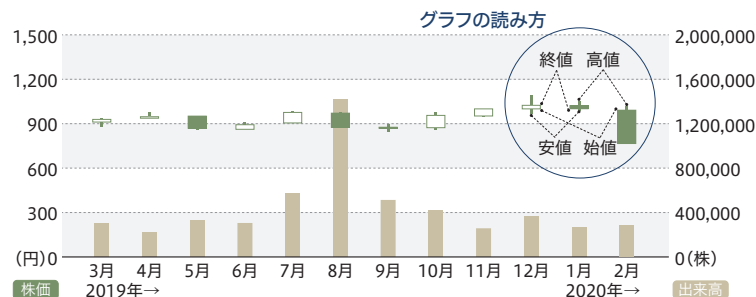
発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	14,884,300株(自己株式279,055株を含む)
株主数	13,401名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
宮崎佳代	4,090,700	28.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,131,900	7.74
ピーピーエイチ フィデリティ ピューリタン フィデリティ シリーズ イントリンシツク オポチユニテイズ ファンド (常任代理人:株式会社三菱UFJ銀行)	687,800	4.70
ピーエヌワイエムエスエー エヌパイ ノントリーテー アカウント (常任代理人:株式会社三菱UFJ銀行)	678,300	4.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	513,500	3.51
ピーピーエイチ ポストン フォー ノムラ ジャパン スモラー キャピタライゼーション ファンド 620065 (常任代理人:株式会社みずほ銀行決済営業部)	383,600	2.62
資産管理サービス信託銀行株式会社	267,400	1.83
株式会社三菱UFJ銀行	192,000	1.31
株式会社十六銀行	160,000	1.09
AVANTIA従業員持株会	148,900	1.01

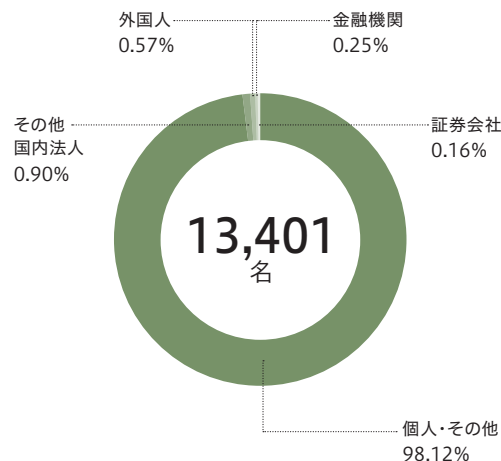
※持株比率は、自己株式279,055株を控除して計算しております。

株価・出来高の推移

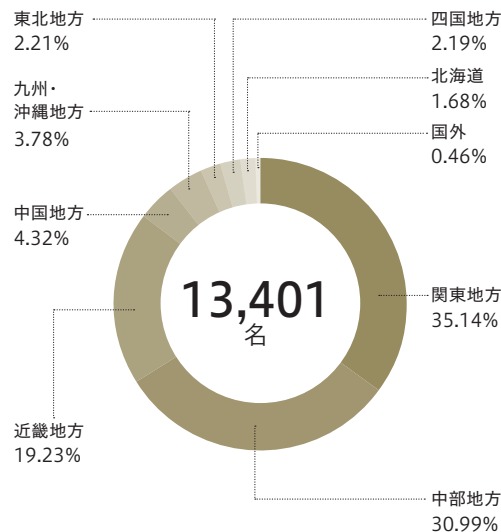


分布状況(株主数)

所有者別分布状況



地域別分布状況



会社概要

社名	株式会社AVANTIA
本社	〒467-0842 名古屋市瑞穂区妙音通三丁目31番地の1 TEL：052-859-0034(代表)
設立	1989年11月16日
資本金	3,732百万円
従業員数	496名(グループ会社含む)

役員

代表取締役社長	沢田 康成
専務取締役	宮崎 卓也
常務取締役	水戸 直樹
取締役	大森 隆治
取締役	久田 英伸
取締役	岡本 亮
社外取締役	遠藤 彰一
社外取締役	広中 和雄
常勤監査役	千住 憲夫
社外監査役	川崎 修一
社外監査役	中村 昌弘
社外監査役	天野 景春

株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式の投資魅力を高め、中長期にわたって多くの株主の皆様当社株式を継続して保有していただくことを主な目的として、以下のとおり優待内容を変更いたします。

保有期間	保有株式数	優待内容
1年以上継続(※)	100株以上～500株未満	QUOカード 1,000円分
	500株以上	QUOカード 2,000円分

※保有期間1年以上継続とは、毎年8月31日を権利確定日として、2月末日現在および8月31日現在の株主名簿に連続して3回以上記載または記録されていることといたします。

【変更の時期】

2020年8月31日を基準とする株主優待制度から変更いたします。なお、経過措置として、次回(2020年8月31日基準)の株主優待に限り、2020年2月29日現在の株主名簿ならびに2020年8月31日現在の株主名簿に連続して2回記載または記録された株主様を1年以上継続保有とみなし、上記保有株式数に応じて「QUOカード」を贈呈いたします。

ホームページのご案内

当社では、株主・投資家の皆様と、より良いコミュニケーションを図るためプレスリリースや決算発表資料などのIR情報をホームページにて公開しております。是非、ご覧ください。



<https://avantia-g.co.jp/>

IR情報に関するお問い合わせ ▶ ir@avantia-g.co.jp

株主メモ

事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	11月
基準日	定時株主総会・期末配当金／8月31日 中間配当金／2月末日 その他必要がある場合は、予め公告して臨時に定めます。
売買単位	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031 (フリーダイヤル) 土・日・祝祭日を除く9:00～17:00 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国本支店で行っております。
公告方法	電子公告 当社ホームページ(https://avantia-g.co.jp/)に掲載 (ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)

住所変更のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

